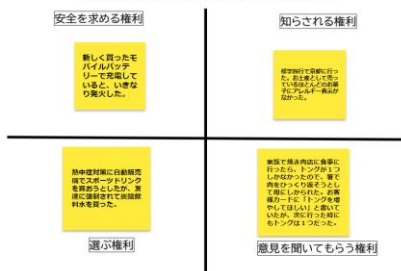


# 【正しい消費者力を身につけよう】

「四つの権利」を侵害する事例を分類しよう



## 活用場面

### 一斉学習

教師による教材の提示

### 個別学習

個に応じた学習

思考を深める学習

### 協働学習

発表や話し合い

協働での意見整理

## 活用した機器等

Chromebook

## 活用したアプリ等

- Google Classroom
- Google Forms
- Google Jamboard
- Google スプレッドシート
- Padlet
- インターネット機能



協働学習のようす

## 学習のねらい

契約や消費者問題についての知識を身につけ、消費者を守るための法律や制度、機関について調べることができるようになる。そして、自立した主体的な消費者として行動できる「消費者力」とはどのようなものかを考え、内容をまとめて他者へ説明することができるようになる。

## 学習の流れ

**導入** 消費者問題の典型的な事例について学ぶ。その事例が、消費者の4つの権利（安全を求める権利、知らされる権利、選ぶ権利、意見を聞いてもらう権利）のうちどの権利を侵害するかを班ごとに考えて分類する。



**展開** 消費者の権利を守るために日本で作られた法律や制度、機関について、班ごとに教科書やインターネットを活用して調べ学習を行う。



**まとめ** 班ごとに調べた内容をPadletで互いに共有しあい、他の班が調べた内容をノートにまとめる。授業を通して学んだことを自ら振り返り、Google Formsで提出する。

## ココでICTを活用！

導入部において、Google Jamboardの付箋機能などを活用することで、教員側が提示した消費者問題の事例と消費者の4つの権利がどのように関係するのかを可視化し、協働で意見を整理しやすくして、調べ学習や議論を深められるようにした。

消費者の権利を守るための法律や制度を班ごとに調べさせ、各班が調べた内容をPadletを用いて可視化して共有できるようにすることで、自分のノートにまとめやすくなった。

各自の振り返りはGoogle Formsで提出させ、スプレッドシートで集約することで、教員側も次の指導にいかせるようにした。

## 活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

Jamboardは、互いの考えを可視化して共有することで、議論を深めて協働し、意見を整理することができるという点でメリットがある。付箋の色や大きさを変えたり、自由に動かしたりできるため、紙ベースのノートでの作業に比べて、意見交流の機会も増え、内容も深められると考えられる。

一方で、Padletは、他の生徒の意見に対してコメントすることができるため、より協働的な学びが可能であり、Jamboardに比べて意見をまとめやすい点でメリットがある。